2020年12月期　決算説明資料

株式会社　ヴィンクス

2021年　2月　26日

証券コード：3784

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

2020年12月期　決算説明資料

- 2020年12月期の決算概要
- 2020年12月期の主なトピックス
- 主要プロダクトとニューリテール動向
- 中期方針および2021年度計画
- 【ご参考】B／SおよびC／F

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

決算ハイライト

【2020年12月期 総括】

売上高につきましては、小売業におけるキャッシュレス化、マルチベンダー化（ハードウェアとソフトウェアの分離）のニーズの高まり等により、プロダクト等の開発売上が増加しました。一方、新型コロナウイルスの影響に伴う顧客の店舗休業および店舗展開計画の延伸により、ハードウェア販売や海外店舗向け利用料サービス等の売上が減少しました。

利益面につきましては、開発生産性の向上により各段階利益が計画値・前年実績値を上回りました。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目名	2020年度		計画対比				2019年度			
	実績値	売上比	計画値	計画比	計画差	売上比	実績値	前年比	前年差	売上比
売 上 高	**27,720**	–	30,700	90.3%	▲2,979	–	29,748	93.2%	▲2,028	–
売上総利益	**6,775**	24.4%	6,573	103.1%	202	21.4%	6,491	104.4%	283	21.8%
販売管理費	**4,647**	16.8%	4,853	95.8%	▲205	15.8%	4,821	96.4%	▲174	16.2%
営業利益	**2,128**	7.7%	1,720	123.7%	408	5.6%	1,669	127.5%	458	5.6%
経常利益	**2,095**	7.6%	1,696	123.5%	399	5.5%	1,652	126.8%	442	5.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	**1,222**	4.4%	1,113	109.8%	109	3.6%	1,099	111.2%	123	3.7%

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

分野別状況

1．アウトソーシング分野につきましては、主に海外を中心とした顧客の店舗休業およびサービス内容変更等により、利用料サービスの売上高が減少し、売上高、営業利益ともに前年実績値を下回りました。
2．ソリューション分野につきましては、緊急事態宣言に伴うシステム導入の遅延影響、一時的な受注の遅れにより、売上高に計画差が発生しましたが、売上高、営業利益ともに前年実績値を上回りました。
3．プロダクト分野につきましては、POS案件等の拡大により、売上高、営業利益ともに計画値・前年実績値を上回りました。
4．その他ＩＴ関連分野につきましては、新型コロナウイルスの影響により、ハードウェア販売を中心とした受注遅れが発生し、売上高が計画値・前年実績値を大きく下回りました。

単位：百万円（百万円未満切捨て）

【売上高】

	2020年度		計画対比			2019年度		
分野	実績値	売上比率	計画値	計画比	計画差	実績値	前年比	前年差
アウトソーシング分野	8,741	31.5%	9,740	89.7%	▲999	9,609	91.0%	▲868
ソリューション分野	10,938	39.5%	11,126	98.3%	▲187	10,615	103.0%	323
プロダクト分野	3,613	13.0%	3,083	117.2%	530	2,868	126.0%	745
その他IT関連分野	4,426	16.0%	6,750	65.6%	▲2,323	6,655	66.5%	▲2,228
合計	27,720	100.0%	30,700	90.3%	▲2,979	29,748	93.2%	▲2,028

【営業利益】

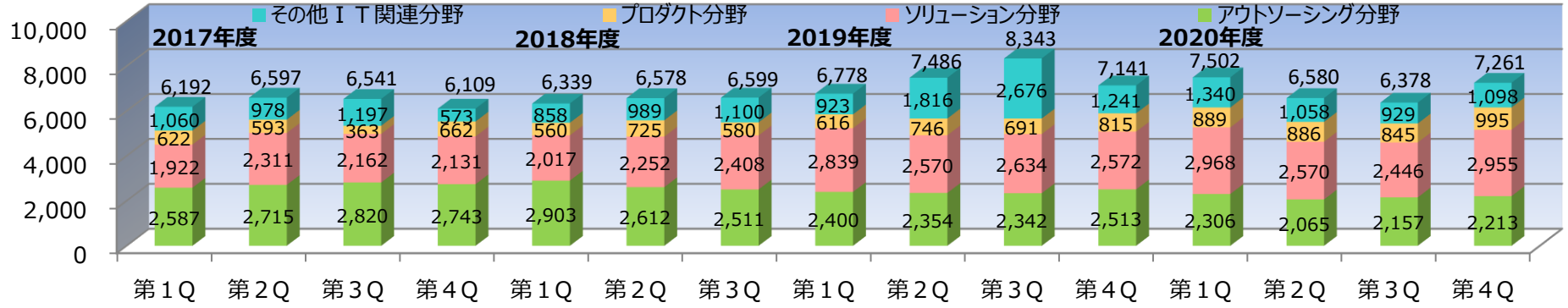
	2020年度		計画対比			2019年度		
分野	実績値	売上比率	計画値	計画比	計画差	実績値	前年比	前年差
アウトソーシング分野	606	6.9%	592	102.4%	14	629	96.4%	▲22
ソリューション分野	1,059	9.7%	844	125.5%	215	799	132.6%	260
プロダクト分野	323	9.0%	172	187.9%	151	153	211.3%	170
その他IT関連分野	137	3.1%	110	124.6%	27	87	157.2%	50
合計	2,128	7.7%	1,720	123.7%	408	1,669	127.5%	458

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

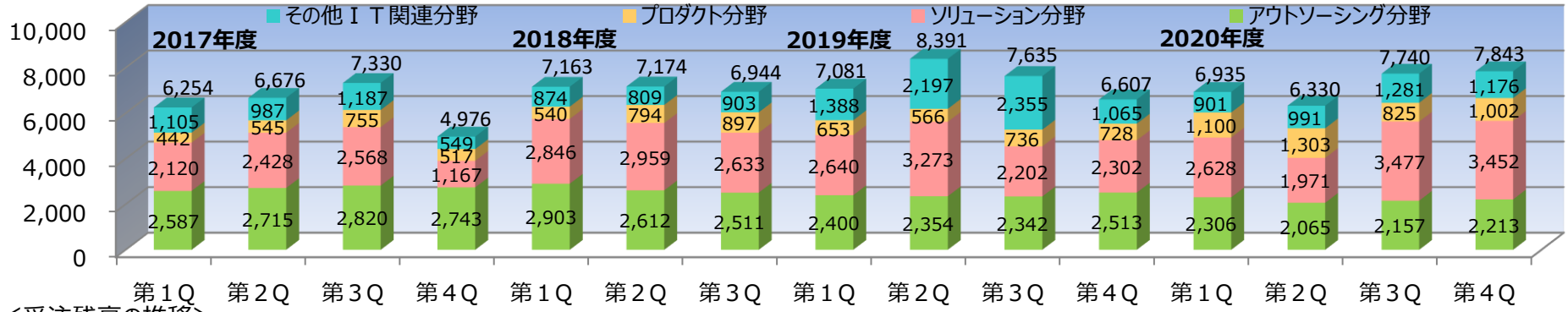
分野別状況

<売上高の推移>

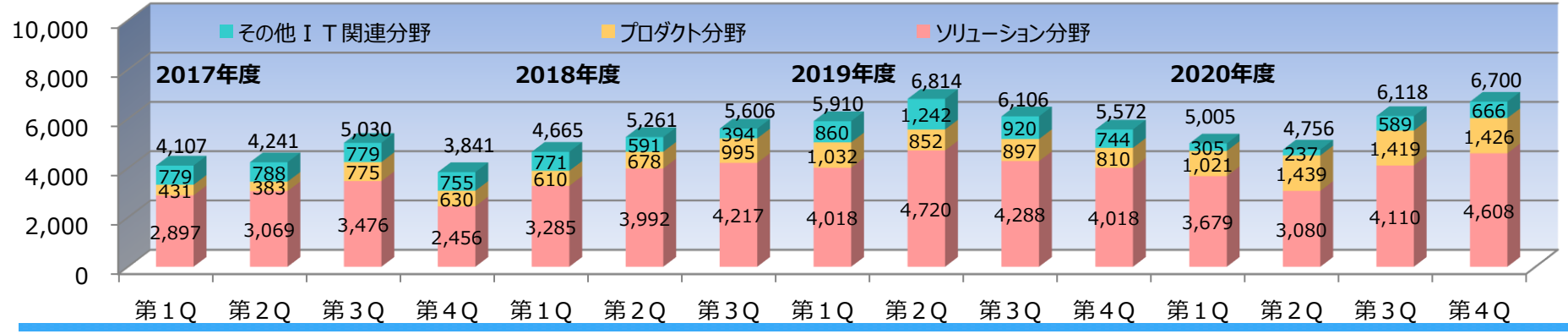
（単位：百万円）



<受注高の推移>



<受注残高の推移>



Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

注記：アウトソーシング分野につきましては、受注生産型の事業形態ではないため「受注残高」の記載を省略しております。

2020年12月期　決算説明資料

- 2020年12月期の決算概要
- **2020年12月期の主なトピックス**
- 主要プロダクトとニューリテール動向
- 中期方針および2021年度計画
- 【ご参考】Ｂ／Ｓおよび Ｃ／Ｆ

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

営業活動における主なトピックス

VINX

ニューリテール戦略の実行

スーパー

○**次世代キャッシュレス・セルフPOS、スマートPOS**

関東地方を中心として展開する大手スーパー様より、次世代キャッシュレス・セルフPOSシステムの導入案件、スマートフォンを利用したPOS等のスマートPOSシステム案件を受注いたしました。

特定顧客事業の深耕

流通・サービス

○**キャッシュレス決済システム**

全国にショッピングモールを展開するディベロッパー法人様より、海外のキャッシュレス決済システム対応案件を受注いたしました。

流通・サービス

○**基幹システム**

関東地方を中心として展開する大手スーパー様より、プロセスセンターのリプレイス案件を受注いたしました。

プロダクト事業の強化

スーパー

○**自動発注システム**

関西の生協グループ様や、東京都・神奈川県を中心として展開する食品スーパー様、兵庫県を中心として展開する食品スーパー様、および共同仕入れ機構の関連会社である関東地方の食品スーパー様より「MDware自動発注」の導入案件を受注いたしました。

リテールソリューション事業の拡大

流通・サービス他

○**POSシステム**

空港運営会社様向け次期POSシステムの開発案件を受注いたしました。

流通・サービス他

○**RPA** (Robotic Process Automation：これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化することをいいます)

小売業・卸売業等13社のお客様より、RPAの導入案件を受注いたしました。また『BizRobo! Family Awards 2020』において、「デジタル・トランスフォーメーション賞」を受賞しました。

食品スーパー

○**基幹システム**

西東京を中心に展開する食品スーパー様より、基幹システム構築案件を受注いたしました。

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

海外新店のお知らせ＜お客様の海外進出サポート＞

VINX

マツモトキヨシベトナムジョイントストックカンパニー様

ベトナム１号店のPOSシステムと基幹システムの構築を当社が担当しました

2020年10月18日、ベトナムのホーチミン市にドラッグストア「マツモトキヨシベトナムジョイントストックカンパニー」様のベトナム１号店がオープンし、多くのお客様がご来店されました。

当社はPOSシステムと基幹システムをご提供することにより、お客様の海外展開をIT面から強力にサポートして参ります。

ホーチミン一等地のビンコムセンター

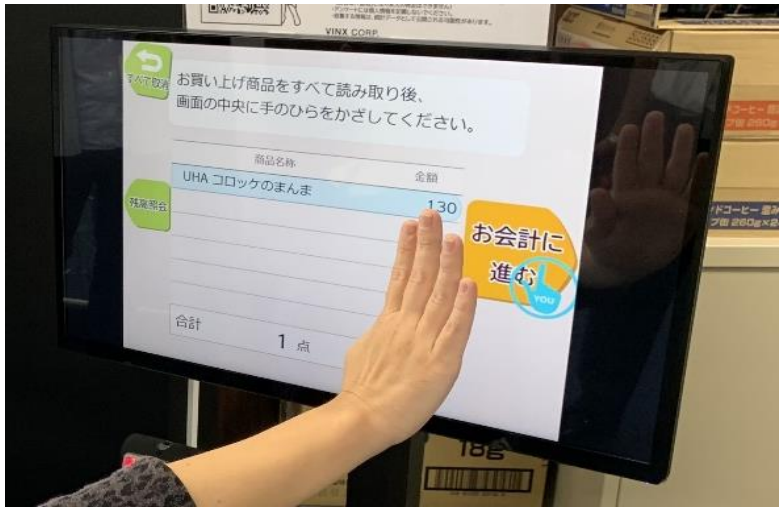
オープニングセレモニーとお買い物に多くのお客様が来店されました。

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

レジの非接触対策
POS画面に触らずにお会計が可能

POS画面に近づけた手の動きを赤外線センサーが検知して、画面に接触することなく
お会計ができるような非接触型セルフPOSを開発しました。
当社内の無人店舗「ヴィンクス・ストア」で実証実験を開始しました。

手を近づけると画面にアイコンが登場します



空中で手を動かすことでアイコンを操作できます

【動画】VINX 非接触型セルフＰＯＳシステム https://www.youtube.com/watch?v=zqwaPGFGO00

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

レジの非接触対策

POS画面に触らずにお会計が可能

【動画】VINX 非接触型セルフＰＯＳシステム https://www.youtube.com/watch?v=zqwaPGFGO00

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

2020年12月期　決算説明資料

- 2020年12月期の決算概要
- 2020年12月期の主なトピックス
- **主要プロダクトとニューリテール動向**
- 中期方針および2021年度計画
- 【ご参考】Ｂ／Ｓおよび Ｃ／Ｆ

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

VINXの目指す方向性

小売業は、今後の事業展開に不安を感じており、事業再編の加速やM&Aの増加が想定されます。VINXのソリューションは小売業の変革を、ITでリードして参ります。

＜小売業の変革の動向＞

1．DX関連

(1)事業の変革

ネットとリアルが融合するなど、小売業の業態そのものを変革する事例が増加している。

(2)業務の変革

店舗での支払方法などの業務が、新しい技術によって変革しており、
1980年代のPOS普及以来の大きな変革期を迎えている。

(3)作業の変革

より効率的な店舗を実現するために、「自動化・省力化・省人化」を追求している。

2．ニューリテール化の潮流

ニューリテールと言われるように、新しい技術により小売業の業態そのものが進化してきている。
DXによる事業の変革に加え、広告収入など新たな収益源となる事業を模索する動きが出てきている。

3．コロナによる影響

小売業各社は、コロナにより業績への影響を受けており、危機感を感じている。
上記の変革の必要性が加速しているほか、非接触ニーズが高まっている。

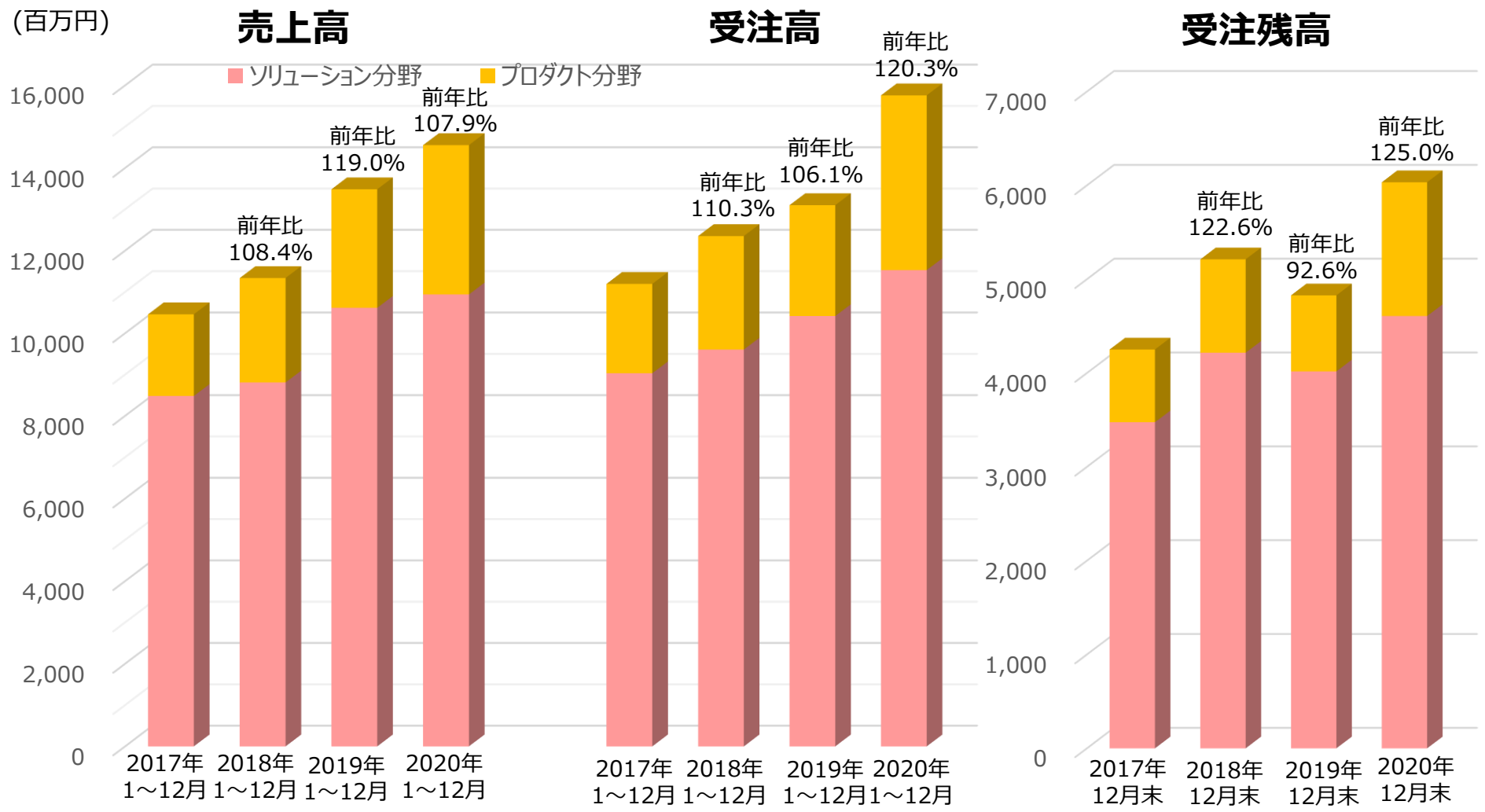
Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

主力分野の状況

VINX

＜ソリューション分野とプロダクト分野の過去４年推移＞

主要ビジネスであるソリューション・プロダクト分野については、概ね順調に推移しております。



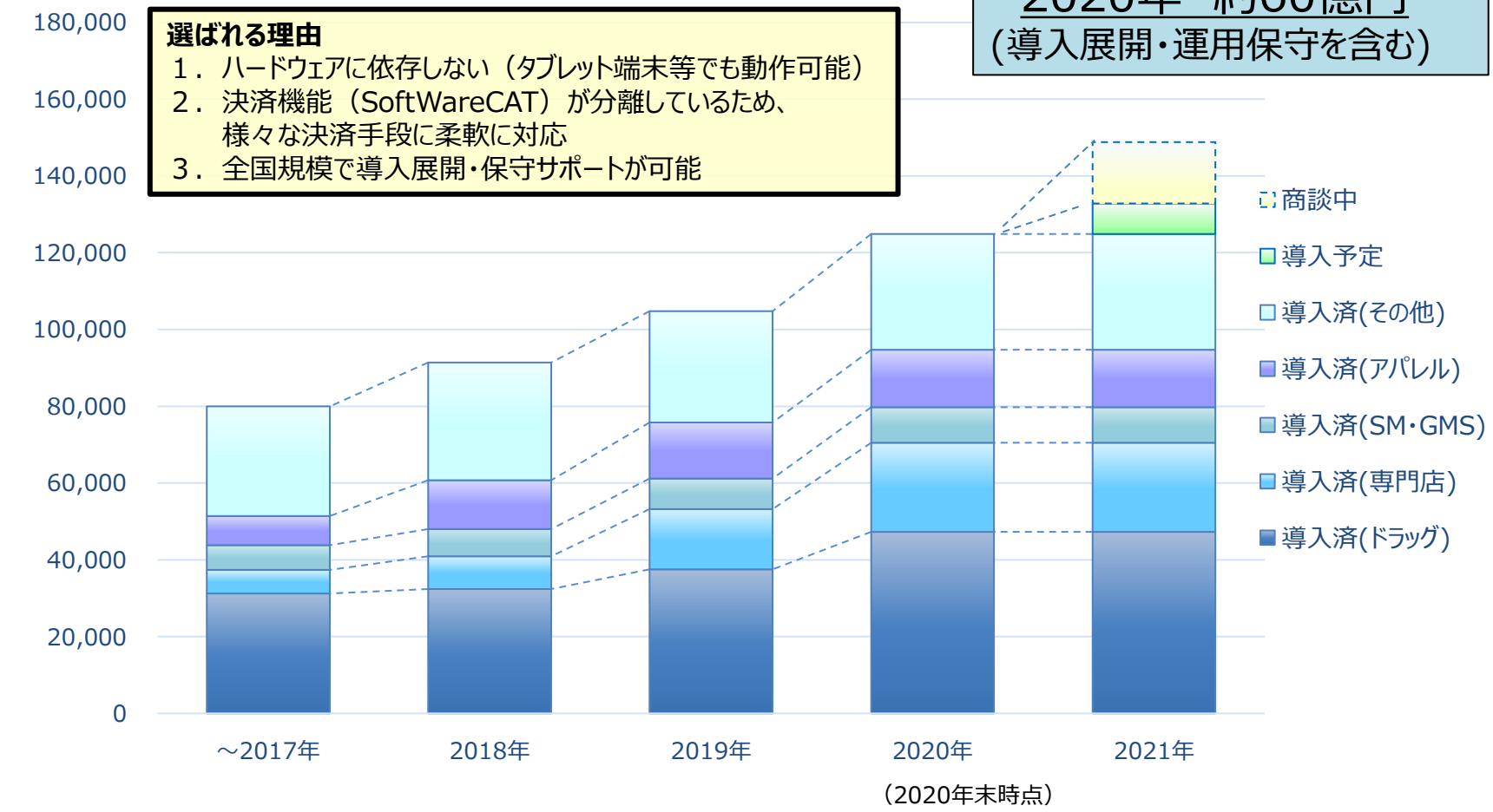
Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

主要プロダクトの実績状況　＜ＰＯＳ関連＞

POSパッケージ（ANY-CUBE・SoftWareCAT）の導入は、順調に推移しております。

【事業規模】
2020年　約60億円
(導入展開・運用保守を含む)

選ばれる理由
1．ハードウェアに依存しない（タブレット端末等でも動作可能）
2．決済機能（SoftWareCAT）が分離しているため、
　様々な決済手段に柔軟に対応
3．全国規模で導入展開・保守サポートが可能



Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

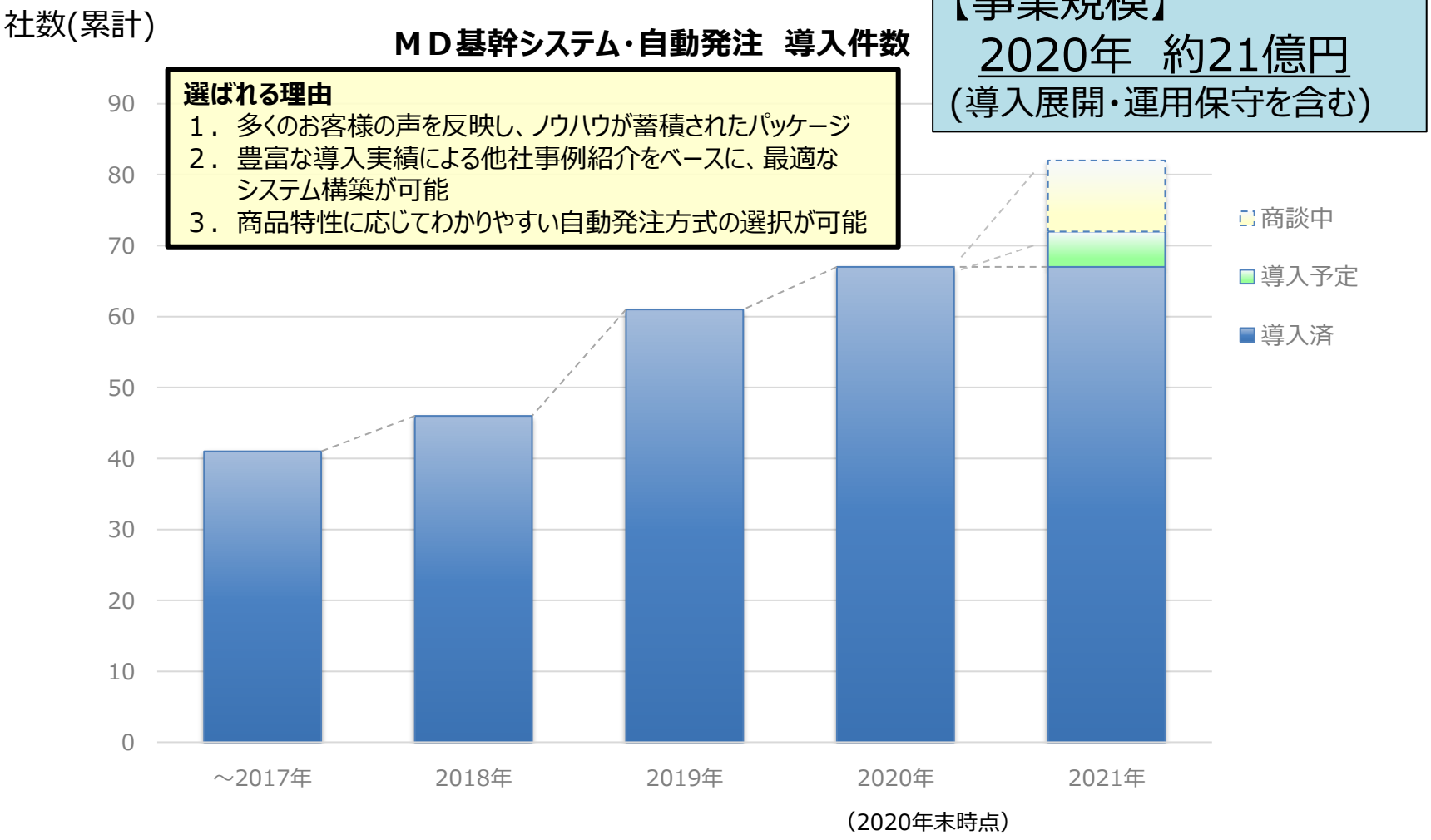
導入時期はお客様都合により変更となる可能性があります。

主要プロダクトの実績状況　＜ＭＤ・自動発注＞

VINX

【事業規模】
2020年　約21億円
(導入展開・運用保守を含む)

選ばれる理由
1．多くのお客様の声を反映し、ノウハウが蓄積されたパッケージ
2．豊富な導入実績による他社事例紹介をベースに、最適なシステム構築が可能
3．商品特性に応じてわかりやすい自動発注方式の選択が可能



Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

導入時期はお客様都合により変更となる可能性があります。

ＲＰＡの導入状況

2017年よりBizRobo!の販売パートナーとして、流通小売業のお客様を中心に
RPA導入を推進。導入社数は順調に推移し、お客様の業務改善に貢献しております。

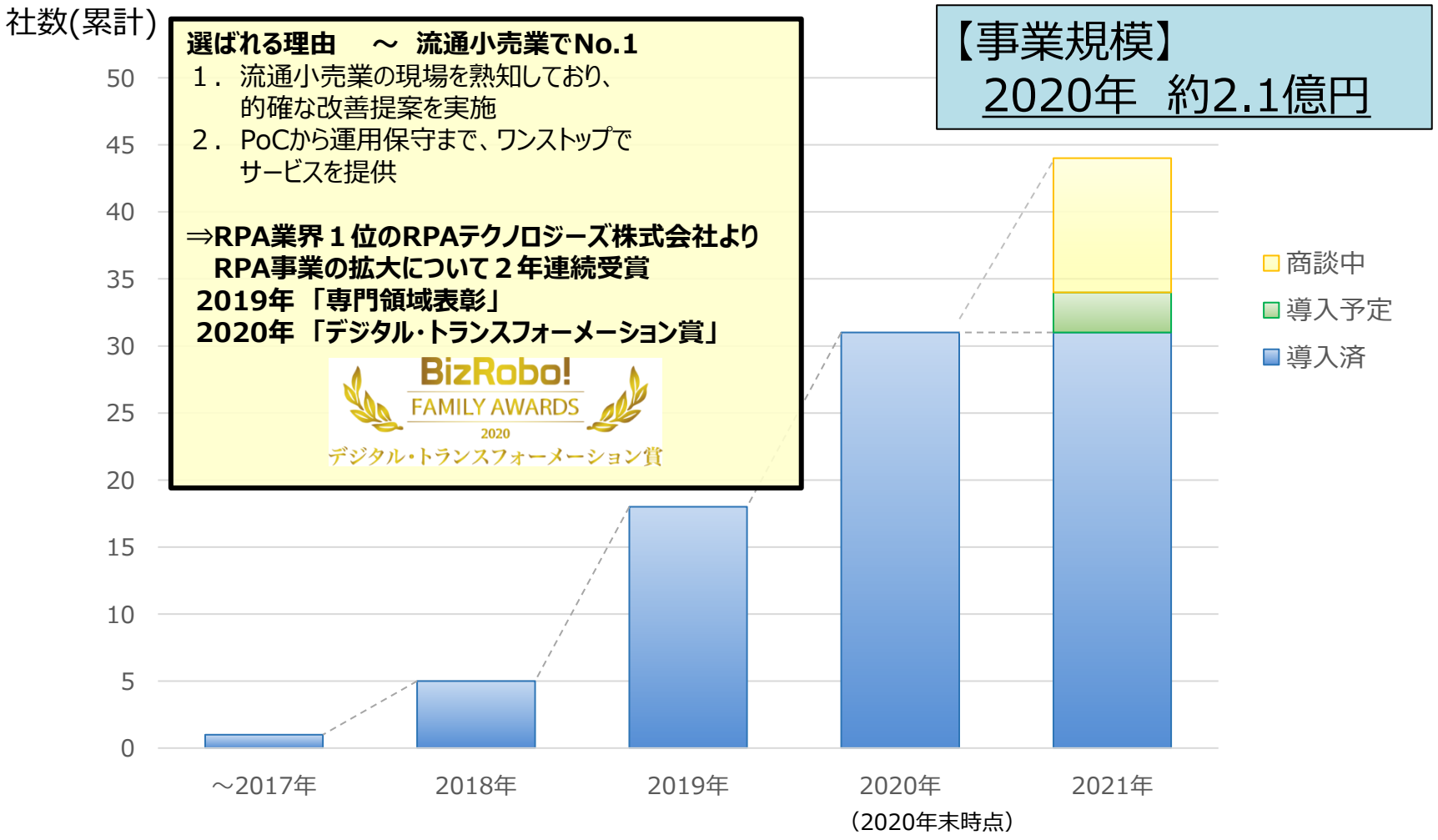
選ばれる理由　～　流通小売業でNo.1

1．流通小売業の現場を熟知しており、
　的確な改善提案を実施
2．PoCから運用保守まで、ワンストップで
　サービスを提供

⇒RPA業界１位のRPAテクノロジーズ株式会社より
**　RPA事業の拡大について２年連続受賞**
2019年 「専門領域表彰」
2020年 「デジタル・トランスフォーメーション賞」

BizRobo! FAMILY AWARDS 2020
デジタル・トランスフォーメーション賞

【事業規模】
2020年　約2.1億円



Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

導入時期はお客様都合により変更となる可能性があります。

【市場動向】ニューリテール分野のニュース

VINX

無人店舗、自動化、決済、EC・ネットスーパーなどをキーワードとするニュースが多く登場しています。

リテールテックの国内市場、2030年に8737億円まで成長へ
MONOist　2020年3月10日

カスミ、無人店を40拠点に　茨城の企業・官庁内に開設　現金レス 慣れる場にも
日本経済新聞　2020年7月8日

イオン、千葉に自動倉庫　英ネットスーパーと協力
日本経済新聞　2020年8月19日

「ガイアの夜明け」 便利で楽しく安全に！～コロナで変わる小売りの現場～
テレビ東京　2020年9月1日

イオングループ／DXでネットスーパー、スマホ決済など非接触の買物強化
流通ニュース　2020年12月8日

セルフレジの利用客6割に　スーパーも導入、民間調査
日本経済新聞　2021年1月31日

イオン、スマホで客が読み取り・決済　レジ不要1000店で
日本経済新聞　2021年1月15日

トライアルのスマートストア、グループ外への普及が次段階へ
日経クロストレンド　2021年2月8日

イオン／イオンマレーシアでEC事業を強化
流通ニュース　2021年02月12日

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

【市場動向】小売業におけるニューリテール変革の事例

小売業におけるDXとして、消費者に新たな顧客体験の提供や、競争力を向上させる、
ニューリテールと呼ばれる潮流は、大きく３つに分類できると考えられます。

自動化・省人化

(1)Amazon　無人店舗
「Amazon Go」

(2)無人コンビニ
国分グローサーズチェーン
「スマピット」

ミニストップ
「ミニストップポケット」

(３)受発注の自動化
自動発注・AI需要予測の導入加速

(４)イオン　物流自動化
「Ocado」導入
…次世代ネットスーパー

ネットとリアルの融合

(1)アリババG　食品スーパー
「**盒馬鮮生**」(ﾌｰﾏｰｼｪﾝｼｪﾝ)

リアル店舗機能
＋EC・物流機能

その場で調理や
30分以内の配送も可

(2)マルイ
「モノを売らない店」

顧客体験を提供する店
D2C活動を支援
(Direct to Consumer…製造から消費者への直販)

スマートストア化

(1)トライアルグループ
店舗全体で、多数のITを活用
店舗をメディア化し、効率化と販促を追求

スマートショッピングカート
販促クーポン発行・ウォークスルー決済

リテールAIカメラ
欠品検知、顧客行動分析

デジタルサイネージ
販促の最適化

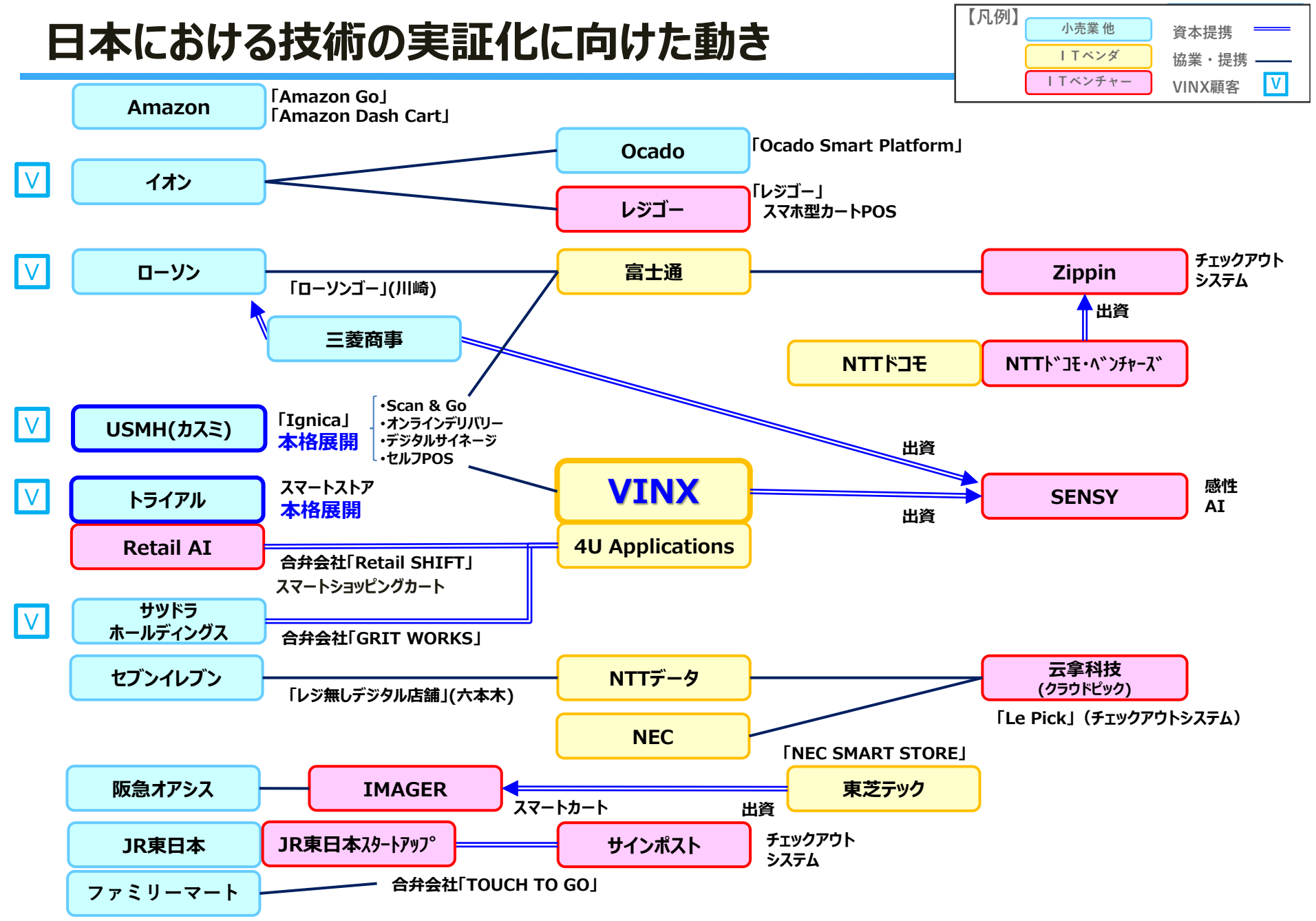
(2)USMH(カスミ・マルエツ・MV関東)
Ignica
これからのリテールの在り方の創造
デジタルサービスの展開プラットフォーム
店舗のメディア化

- Scan & Go
- オンラインデリバリー
- デジタルサイネージ
- セルフPOS

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

出典：プレスリリース　および　各社ホームページ等

日本における技術の実証化に向けた動き



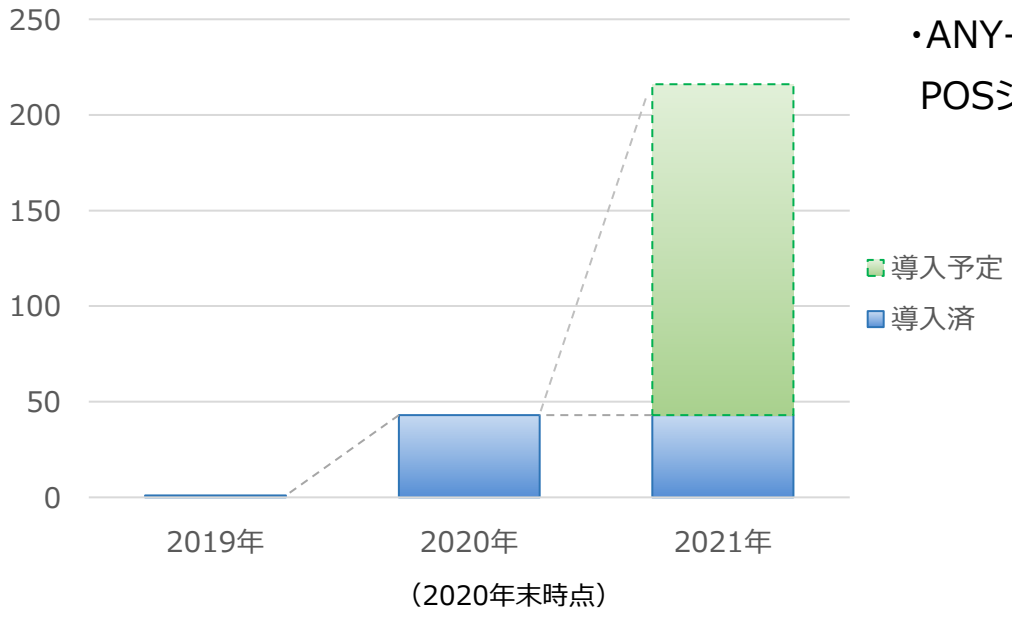
Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

出典：プレスリリース および 各社ホームページ等（一部、通称表示あり）

レジの非接触対策
次世代キャッシュレス・セルフPOS

ANY-CUBE® Neo
POS for the Next Value

導入店舗数(累計)



（2020年末時点）

【当社のキャッシュレス・セルフPOS】

・既存のPOSシステムそのままに追加導入が可能です。
・あらゆるメーカーのPOSハードを活用することが出来ます。
・既存システムとのI/Fプラグインをご用意いたします。
・多彩な決済方法をスピーディーにご利用可能です。
・ANY-CUBEは累計10万台の実績を誇る安心の
POSシステムです。

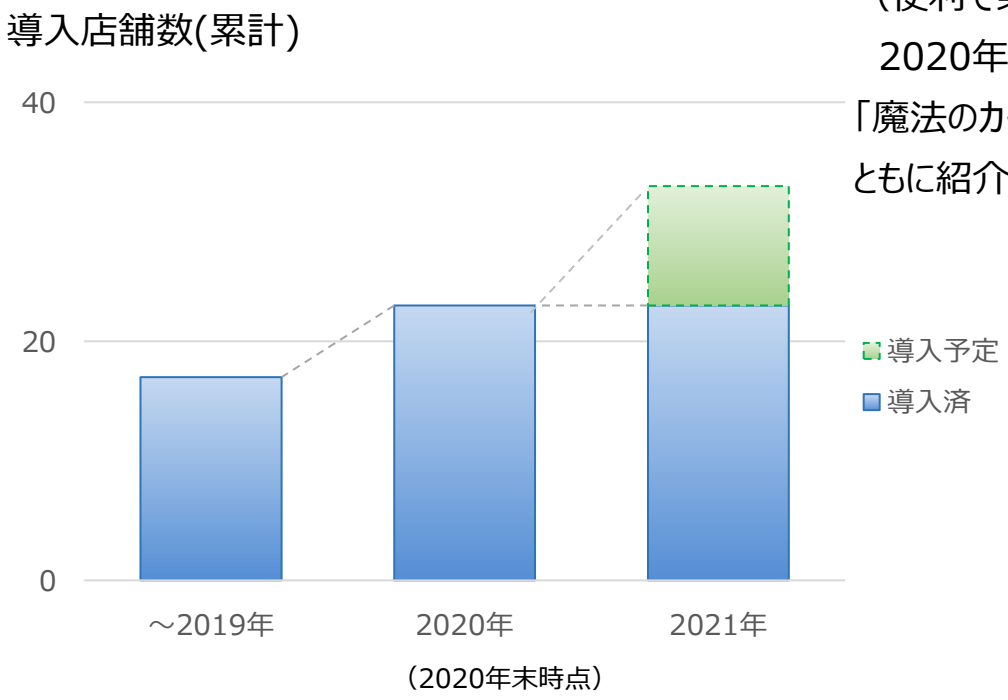
Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

導入時期はお客様都合により変更となる可能性があります。

VINXにおけるスマートストア化＜カート型POS＞

レジの非接触対策
買い物しながら商品のバーコードをスキャンし、レジ待ちも解消

VINXグループがPOSのプラットフォームを提供



昨今、コロナ禍の影響もあり、小売業の店舗では
非接触での買い物サービスが望まれています。
テレビ東京「ガイアの夜明け」
（便利で楽しく安全に！～コロナで変わる小売りの現場～
2020年9月1日放映)にて非接触での買い物を実現した「魔法のカート」として、便利でスピーディーな会計シーンとともに紹介されました。

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

導入時期はお客様都合により変更となる可能性があります。

2020年12月期　決算説明資料

- 2020年12月期の決算概要
- 2020年12月期の主なトピックス
- 主要プロダクトとニューリテール動向
- **中期方針および2021年度計画**
- 【ご参考】Ｂ／Ｓおよび Ｃ／Ｆ

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

中期方針

経営理念	「人々のくらしと流通企業のビジネス活動を情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献します。」
ビジョン	アジアにおける流通ITのリーディングカンパニーを目指す
方針	流通ITの変革をリードし事業拡大を目指す

①ニューリテール戦略	ニューリテール分野への取り組みを強化し、流通IT変革をリードし、リーディングカンパニーを目指す。
②特定顧客事業深耕戦略	お客様のビジネス変革の波をとらえ、営業・開発体制の強化を行う。また、新たな特定顧客となる小売卸業の変革を支援するソリューションを提案し、事業規模を拡大する。
③プロダクト事業強化戦略	ANY-CUBE、MDware等、コア製品の競争力を強化する。AI・ロボット技術・スマートストア・キャッシュレス等のニューリテール分野の技術変革を取り入れた製品開発を行う。
④リテールソリューション事業拡大戦略	メーカーに対して中立という方向を活かした提案を強化するとともに、飛躍的な事業拡大を実現できる体制を構築する。
⑤グローバル市場拡大戦略	アセアン事業を統括し、既存のお客様との関係を強化するとともに、ローカル顧客の獲得を行う。
⑥カード事業強化戦略	お客様との新たな関係を構築し、主要ITベンダーとしての事業拡大を行う。
⑦経営基盤強化	ストック・サービス事業の拡大 (安定基盤事業(50%以上))と業務提携等による事業基盤拡大を目指す。採用強化および教育により生産能力を拡大する。

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

2021年度 方針・施策

VINX

既存ビジネスの高度化とニューリテール事業の具現化

1．ニューリテール戦略

(1)ニューリテール分野の企画開発の強化

(2)カート型POS、無人店舗、キャッシュレス等の
次世代ソリューションの拡販

(3)スマートシェルフの活用等、ITによるプロモーション
サービスの強化

2．特定顧客事業深耕

(1)既存特定顧客との関係強化と新規顧客の
特定顧客化に向けた営業および開発体制強化

(2)特定顧客向けの保守・運用業務まで含めた
ITフルアウトソーシングサービス事業の更なる効率化

(3)統合ヘルプデスクサービス等、ストックビジネスの拡大に
向けた共通基盤構築

3．プロダクト事業強化

(1)既存プロダクトにAI等のニューリテール分野の技術を
活用した高度化を推進

(2)プロダクト製品ラインナップの拡充

(3)AIや自動認識技術等、国内外の優れた要素技術の
積極的な活用

4．リテールソリューション事業拡大

(1)POS・MDシステム等のコア製品の拡販と
保守サービス等のストックビジネスの拡大

(2)EC・専門店ビジネスの拡大

5．グローバル市場拡大

(1)アセアン地域における既存特定顧客に向けた体制強化

(2)海外パートナーとのアライアンス推進とグローバルプロダクト
の販売拡大に向けた営業・開発・サービス体制強化

6．カード事業強化

開発体制強化

7．経営基盤強化

(1)DXおよび営業体制の強化による引合・受注拡大

(2)運用サービス等の業務効率化の推進

(3)安定基盤事業であるストック・サービス事業への
事業構造転換

(4)業務提携・資本業務提携・M&Aによる事業基盤拡大

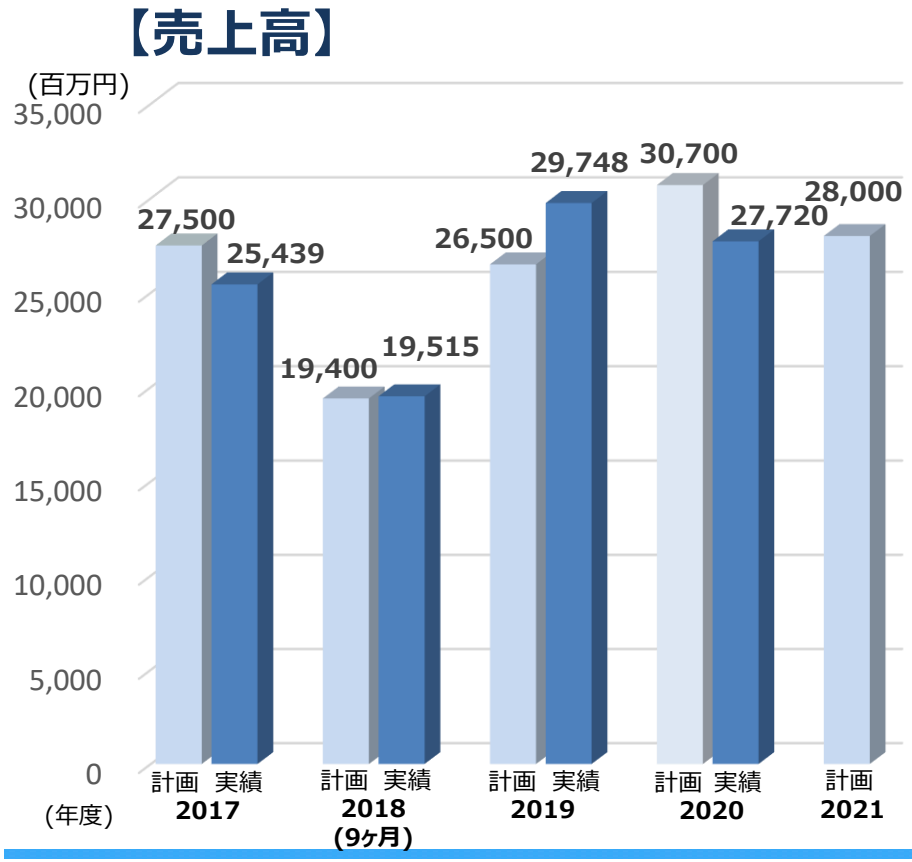
(5)品質管理の強化とプロジェクト管理体制の強化

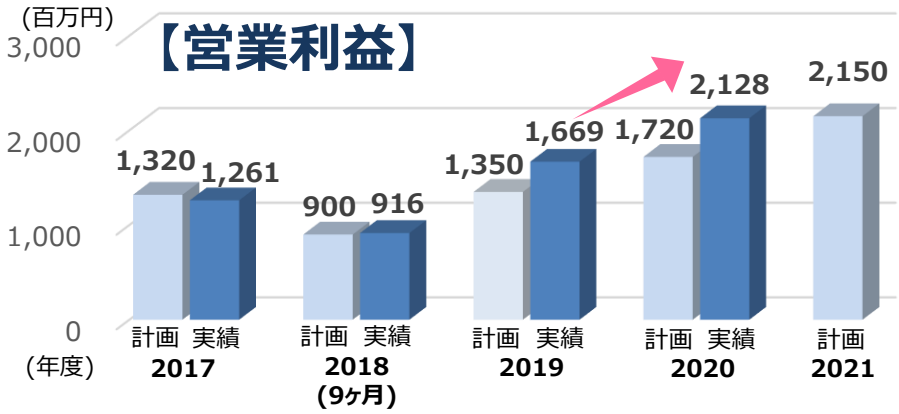
(6)働き方改革による社員の士気とモチベーションの向上

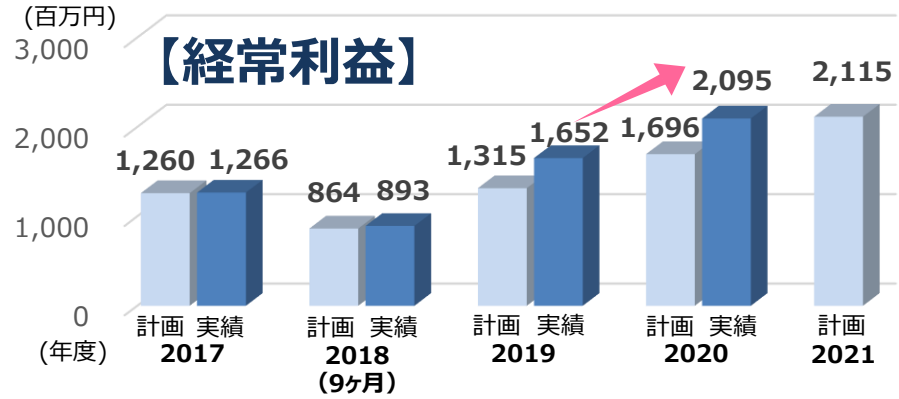
Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

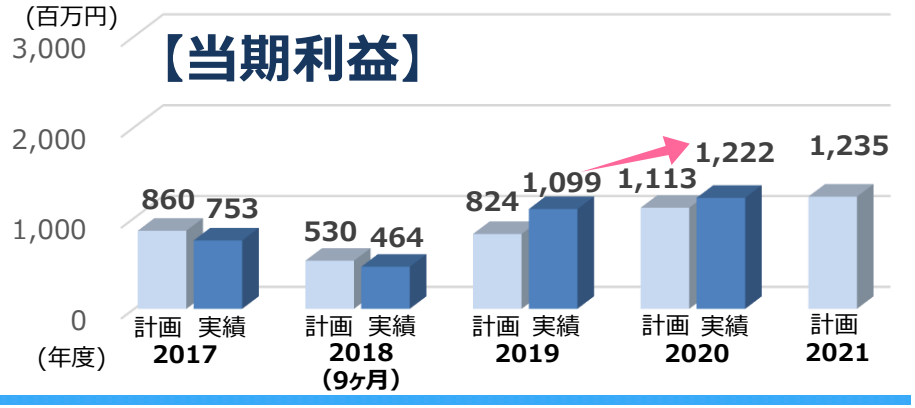
売上高・各段階利益の推移と2021年度計画（連結）

新型コロナウイルスの影響に伴う顧客の店舗休業および店舗展開計画の延伸により、ハードウェア販売等の売上高は伸び悩みましたが、事業構造改革による開発生産性の向上により各段階利益は順調に伸びております。







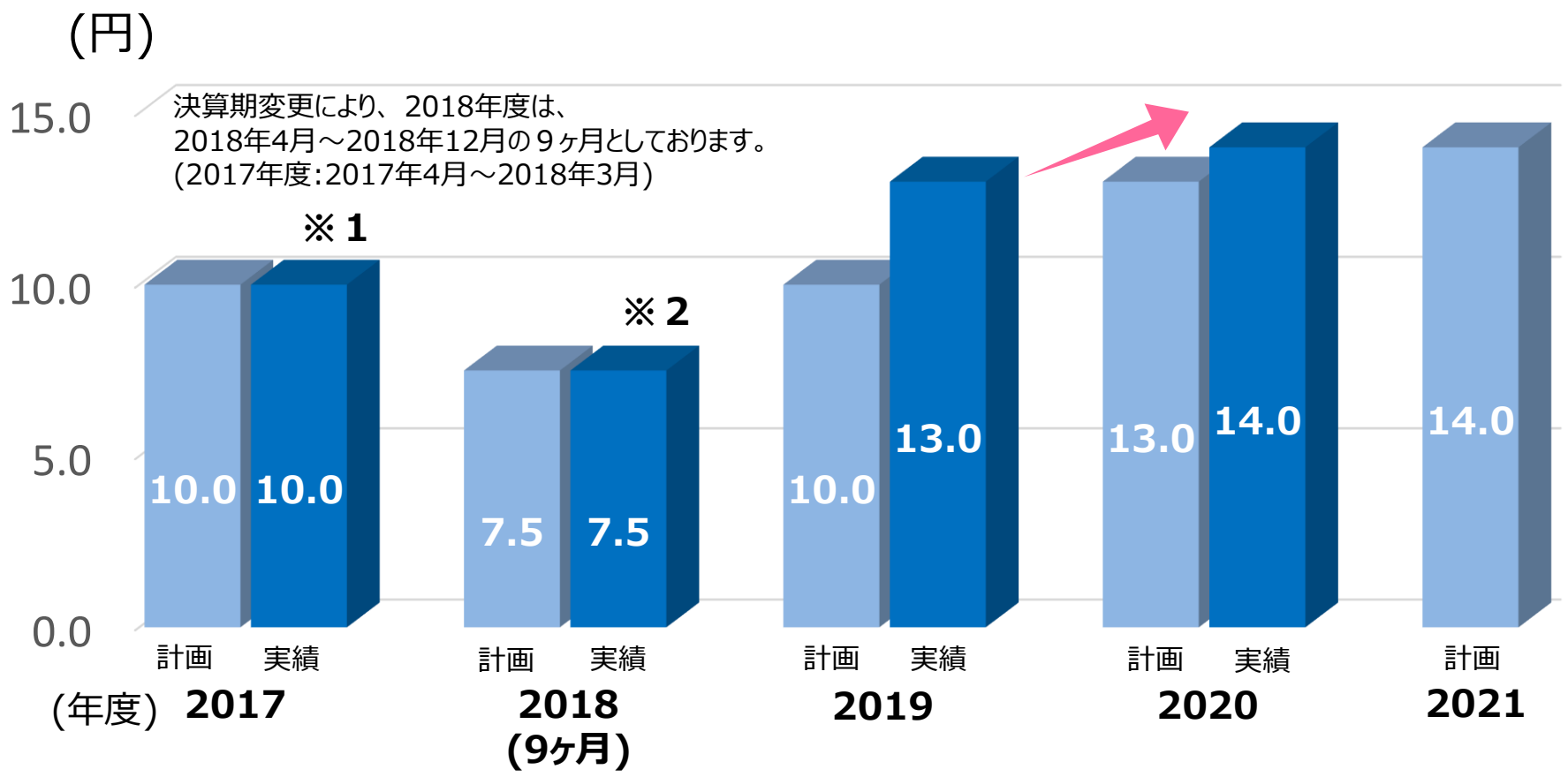


Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

2018年度は決算期変更により2018年4月～2018年12月の９ヶ月としております。
(2017年度:2017年4月～2018年3月)

配当の推移

【１株当たり配当金の推移】



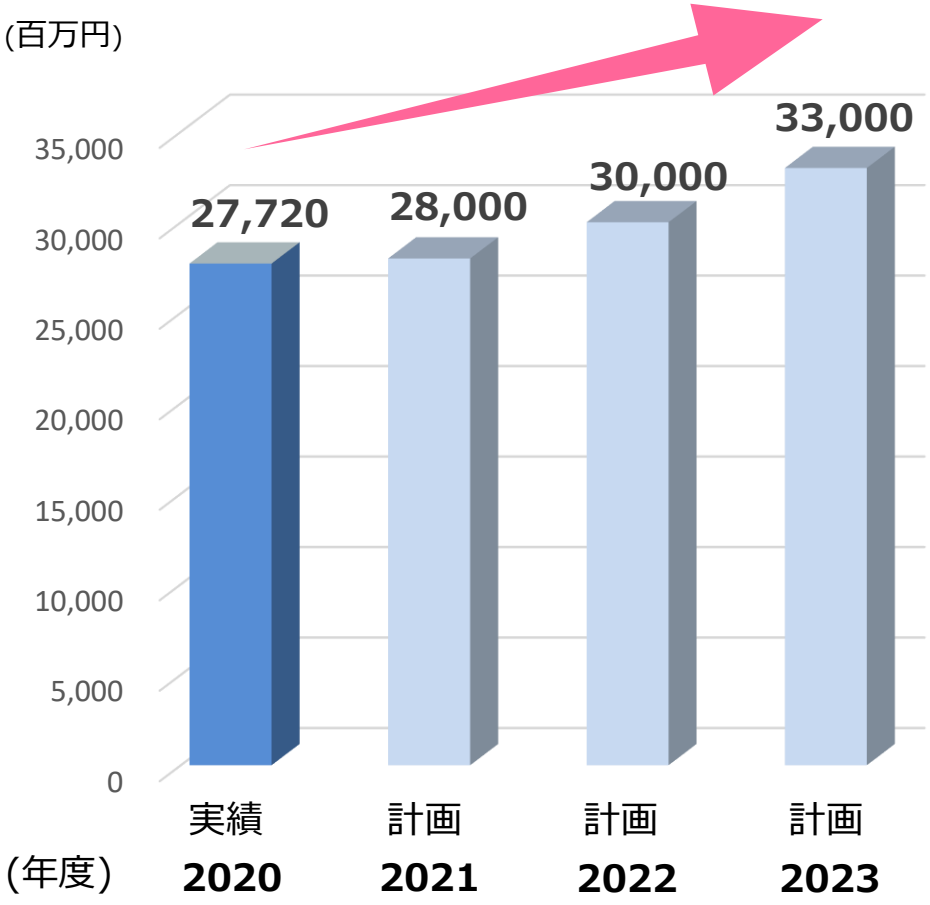
※１　2017年度実績について
2018年3月 株式１株につき、２株の割合で株式を分割しております。
株式分割前2017年度は、20.0円の実績ですが、分割後の2分の１の換算で表記しております。

※２　2018年度実績について
2018年度は９ヶ月決算のため、
期末配当金は３ヶ月分の2.5円となっております。

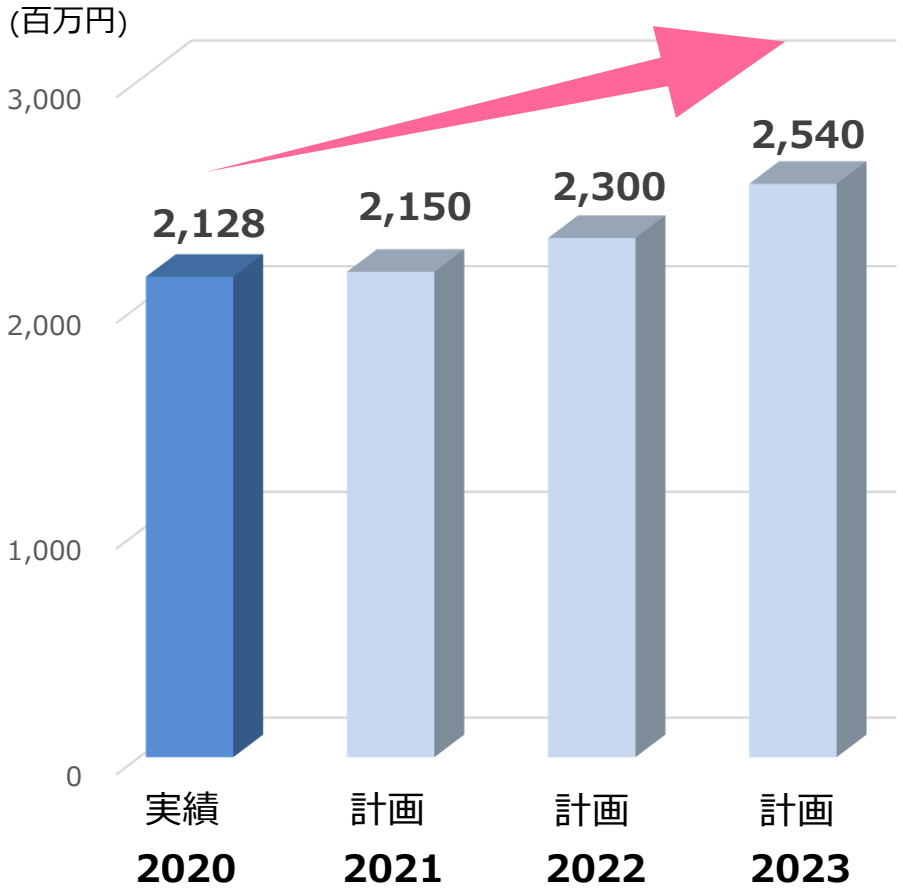
Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

中期計画

【売上高】



【営業利益】



Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

2020年12月期　決算説明資料

- 2020年12月期の決算概要
- 2020年12月期の主なトピックス
- 主要プロダクトとニューリテール動向
- 中期方針および2021年度計画
- 【ご参考】B／SおよびC／F

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

財務状況

【貸借対照表】

単位：百万円、%、 百万円未満切捨て

区分	2020年12月期末	構成比(%)	2019年12月期末	差額
流動資産	13,437	71.6	10,832	2,605
固定資産	5,331	28.4	6,081	▲749
＜有形固定資産＞	1,357	7.2	1,697	▲340
＜無形固定資産＞	1,895	10.1	2,171	▲275
＜投資その他の資産＞	2,078	11.1	2,211	▲133
資産合計	18,768	100.0	16,913	1,855
流動負債	6,330	33.7	5,960	370
固定負債	3,011	16.0	2,838	172
負債合計	9,341	49.8	8,799	542
純資産	9,426	50.2	8,114	1,312
負債・純資産　合計	18,768	100.0	16,913	1,855

＜貸借対照表のポイント＞

前期比の主な増減要因は、以下の通りです。

・資産

現金及び預金	24億	77百万円増加
受取手形及び売掛金	4億	14百万円増加
工具、器具及び備品	2億	94百万円減少
ソフトウェア	4億	45百万円減少

・負債

買掛金	1億	78百万円減少
短期借入金	5億	51百万円増加
長期借入金	2億	47百万円増加
退職給付に係る負債	1億	22百万円減少

・純資産

利益剰余金	9億	78百万円増加
新株予約権	2億	42百万円増加

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円、百万円未満切捨て

税金等調整前当期純利益	2,082
減価償却費	1,225
その他	▲52
小計	3,255
利息、法人税等の支払額等	▲763
営業活動によるキャッシュ・フロー　①	2,491
有形固定資産の取得による支出	▲188
無形固定資産の取得による支出	▲329
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	▲210
その他	▲7
投資活動によるキャッシュ・フロー　②	▲736
短期借入れによる収入	3,881
短期借入金の返済による支出	▲3,329
長期借入れによる収入	1,028
長期借入金の返済による支出	▲556
その他	▲291
財務活動によるキャッシュ・フロー　③	731
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲3
現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）	2,483
現金及び現金同等物の期首残高	4,246
現金及び現金同等物の当期末残高	6,730

＜キャッシュ・フロー計算書のポイント＞

当期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は67億30百万円となりました。
詳細は以下の通りです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー
営業活動の結果、24億91百万円増加しました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー
投資活動の結果、7億36百万円減少しました。

＜主な要因＞
・無形固定資産の取得
プロダクトソフトウェアの開発等

・株式会社Ui2の株式取得

③財務活動によるキャッシュ・フロー
財務活動の結果、7億31百万円増加しました。

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.

本資料の取扱のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

正確性を期すために慎重に行っておりますが、正確性・完全性を保証するものではありません。

また、本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は当社の公表している将来見通しとは大きく異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社ヴィンクス
企画本部　経営企画部
連絡先：03-5637-7607

Copyright © 2021 VINX CORP. All Rights Reserved.